

承認/1991年3月8日

例会日/火曜日・PM6:30

例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号

名古屋マリオットアソシアホテル2202号

TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

会長/小野 雅之

幹事/木下 福郎

会報・雑誌・広報委員長/  
朝比美和子



2009-2010

# WEEKLY REPORT

2009-2010年 RI会長 ジョン・ケニー

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com)

## 第874回

2009年8月25日(火) 晴 第7回  
～ 会員増強および拡大月間～

斉唱 それでこそロータリー  
出席 会員 70名 (出席率算入人数 66名)  
出席 54名 出席率 81.82%  
前々回補填率 98.53% (8月4日分)

### 会長あいさつ

会長 小野 雅之さん

皆さん、こんばんは。昨日夏の甲子園高校野球が終わりました。わが愛知代表の中京大中京、そして新潟の日本文理、非常に素晴らしい試合でした。みんなの一生懸命なプレー、走塁、昔の高校生に比べてすばらしくパワフルなバットスイング。最後の最後まで素晴らしい野球でした。そんな華やかな高校野球の試合の行われる中で、実は先日20日には大高緑地公園で養護学院のソフトボール大会がありました。私たちが援助しております那爛陀学苑が参加しまして、私とロータリー財団委員長の榊原さん、そして社会奉仕委員長の佐々木真さんと3人で行ってきました。10時20分試合開始という事でしたが若干遅れまして、非常な炎天下の中試合は行われ、残念ながらわが那爛陀学苑は攻守に精彩を欠いて24対2の大差で負けました。ただ小学生の低学年から高学年が混ざり合った混合チームの中、ひたすら一生懸命なプレーでさわやかな試合でした。また、子ども達が走って守って点差に関係なく球を追いかける姿に非常に感動しました。この子ども達が将来だんだん大きくなって巣立っていけば、この教訓が生かされていい大人となって成長していくだろうと思います。そして我々の支援活動はこういう所で彼らの育成に貢献しているのだなという事をつくづく思いました。これから地区増強委員長の小山さんの卓話をたっぷり聞きたいと思っておりますので、簡単ですがこの辺で小山さんの卓話に託したいと思っております。



### 幹事報告

幹事 木下 福郎さん

次週9月1日17時より17階「パイン」で9月度の理事会及び委員長会議がありますので、出席義務者の方はご出席よろしくお願ひします。

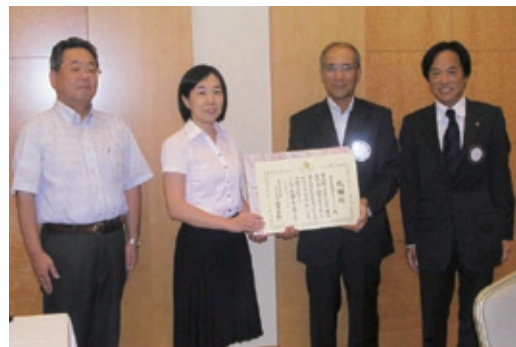
### 感謝状授与

剣道大会に対する寄付につきましての感謝状を愛知県警よりいただきましたので、報告します。

#### — 感謝状 —

名古屋名南ロータリークラブ殿  
貴団体は素素から少年の健全育成に深いご理解とご協力を寄せられ、第22回愛知県警察少年柔道・剣道大会の開催に際し多大な貢献をされました。ここに深く感謝の意を表します。

平成21年8月18日  
愛知県警察本部生活安全部長 田中 正和



### ニコボックス

- ◆ 本日は“会員増強拡大月間”地区委員長として卓話をさせていただきます。  
小山 慎介さん
- ◆ 外部卓話として地区会員増強委員長、小山慎介さんの活動方針です。  
会員の増強は、団体の活動を活発にします。宜しくお願いします。

新原 尚さん 山崎 淳さん 山本 誠一さん  
白銀 義昭さん 牧野 好弘さん 細井 俊男さん  
犬飼りさ枝さん 白藤 憲雄さん 林 隆二さん  
野々村憲吾さん 田中 省三さん 榊原 和美さん  
田中 一雄さん 黒田 康正さん 中村 勝さん  
浅井 浩さん 坂本 晃さん 杉本 勇さん  
武藤 正行さん 水野 俊男さん 安藤 修さん  
久米 伸治さん 伊藤 圭一さん 朝比美和子さん  
小澤 久隼さん 大橋さなえさん 東山 直史さん  
三浦 和人さん 小野 雅之さん 木下 福郎さん  
本多 利郎さん 木村 猛さん 鈴木 清詞さん  
有川 英敏さん 宮澤 伸光さん

◆ 中京大中京高校優勝おめでとうございます。

大隅 紀郎さん 江村 雅夫さん 杉山 隆秀さん  
杉本 勇さん 江上 隆夫さん 川辺 清次さん  
吉木 邦男さん 太田 敦士さん 三島多恵子さん

◆ 10月に京都の高島屋で日本いけばな芸術展が開催されます。私も花をかついで行ってまいります。秋の京都を楽しみに出かけ下さい。

堀田 光江さん

◆ 8月も1週間を切りました。先の日曜日に乗鞍に散策に行きました。好天に恵まれ豊平のお花畑は高山植物も満開で、なんともいえない気持ちよさですが、少し肌寒い状態で山頂3026mから穂高岳、槍岳、御岳を目の前に見ることができました。残雪も例年と比べると3分の1で、急斜面で夏スキーが行われていました。また、スポーツ自転車で登山道を下るのを見ていて、登るのはパスして下る方に挑戦したくなりました。家に帰ってから山この涼しさを持ってきた感じがします。

三浦 隆さん

◆ 今週の言葉 ◆

「青春の夢に忠実であれ」

本日合計 49,000 円 累計 385,000 円

## 外部卓話

■ 地区会員増強委員長

小山 慎介さん

皆さん、こんばんは。大変多くのニコボックスを頂戴いたしまして、ありがとうございます。本日は会員増強拡大月間ということで、お招きいただきましてありがとうございます。今日は自分のホームクラブなんですが、ずいぶん緊張しております。



先日、新聞にRI会長の最優先要望が会員増強であるということが記事として書かれておりますので、ぜひそれを読んで頂きたいと思っております。月間というのは、新しく入られた方はあまり見慣れていないと思っておりますが、7月はRI会長であるとか、ガバナー方針あるいは会長方針ということでやっております。8月から我々ですと会員増強拡大月間、9月には新世代月間、そして10月になりますと職業奉仕、米山月間、というようにRIから決められておまして、今日は8月の会員増強委員会の月間になりますので、それに基づいてご報告をさせていただきます。

まず初めに少しロータリーの生い立ちをお話しさせていただきます。ちょうど8月号に「ロータリーとは」というように書かれておりますので、少しこちらを読ませていただきます。

皆さんもご存知のように、20世紀の初め、シカゴの街が今以上に経済の発展が大変きびしく、産業などの道徳の欠如が目につくようになっていた頃、このシカゴに事務所を持っていた青年弁護士であるポール・ハリスはこの風潮に耐えかねて、友人3人とお互いの信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたいという趣旨で、このロータリークラ

ブができあがったわけです。

そしてロータリーという名は、集会を各自の事務所順番に開くというところから名付けられました。そこで1905年2月23日にシカゴにおいてロータリークラブが初めて開催され、生まれたわけです。

そこから志を同じとするクラブは次々に各地に生まれ、国境を越え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数はなんと33,334、会員総数は全世界で1,221,880人。2009年3月31日のRI公式発表により会員増と拡大がこのように進んできました。

では、日本はどうかということですが、ちょうどそれから15年後の1920年大正9年10月20日に創立された東京ロータリークラブが、わが国初めてのロータリークラブであります。翌年の1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして国際ロータリークラブに加盟が承認され、今から約100年前に初めて日本が承認されたということでございます。

そして日本のロータリークラブに、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェリス・ベリーと、創立の準備に奔走しました米山梅吉氏がおられます。この功績は、米山梅吉氏が30年の間に大変素晴らしい日本のロータリークラブを育成したわけです。そして彼の功績をやはり何かの形で残そうということで、東京ロータリークラブが米山奨学記念事業というものを作り、これが今日の米山奨学資金の元になっております。

このように現在では、政府のものを除けば、日本の奨学事業の民間の事業の中では日本一大きくなっております。そして学生も年間800名に及んでおります。今から5年前は、1,000名の留学生に対して奨学金を与えておりましたが、年々会員の減少に伴い1,000名から200名を削減し、800名が現在日本中の34地区の中で奨学生として奨学金を受けておりますが、日本の最大の大きな事業として、国際ロータリーで認められております。そして、その後日本におけるロータリーの拡大の発展が大変めざましいものがあり、ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものとなっております。

現在日本全体でのクラブ数は2,300、会員数94,845人（2009年5月現在）となっております。当地区も、大澤年度は会員数が4,922名、クラブ数82でスタートいたしました。1998年においては、会員数が6,406名でクラブ数は76。ところが10年を経ました今日、1,484名の会員減となっている訳です。このようにRIを含めクラブ数減において会員増を声を大にして、申し上げたいのです。

「こんな時こそ会員増強を！」この減少はどのくらい続いているのか、何故この減少があるのか含めて、今年度の会員増強を図りたく、委員会においての過去の実績をみますと、豊島年度におきますと地区の会員数5,477名（入会会員325名、退会会員が449名、増減124名）続いて次年の地区会員数が5,353名、会員数323名、退会会員数425名、増減会員が102名なっています。それほど多く退会があるわけです。このような状況が進めば、本当に段々会員は減ってしまう。そして我々としては大きな事業を会員の皆様の貴重な財源より賄っているわけです。ところが会員数が減り、当クラブ現在70名。多い時は

90名ですが、この物価の値上がりにおきまして、1クラブ80名~100名くらいが最も健全に適するクラブの運営で、地区の中には40名以下のクラブがあるわけです。クラブ自体がどのように運営を図っているかについては、二人に一人が委員長を兼ねる、会長を3年~4年で回ってくる。当クラブのように70名いますと、一度回ると二度と会長はないだろうと言われます。20名クラスで15クラブがありますがRIの規定で20名をもって、1クラブを作ることができます。例えば70名ありますと、3クラブ作ることができます。これで20名を迎え、ガバナーから声がかかり、地区の拡大委員会の方で諮問委員会にかかると「じゃあ、作ろう!」となり、最近豊田ロータリーのもとで82番目のクラブとなるロータリー財団奨学生達が集まる中部名古屋みらいロータリークラブができました。

この状況の中、我々この地区の中で「こんな状態を続けていいのか」と大澤年度においてお話をしましたところ、4月の地区協議会のときに会員増強セミナーを開催させていただきました。皆さんに会員の減少の理由はどこにあるのか、各クラブにアンケートを出しまして、ほとんどのクラブから回答がありました。後ほどアンケートのお話をさせていただきます。

会員増強において今年度も100名チャレンジを行っておりますが、川辺年度の時より創立20周年までに100名にしようと「チャレンジ100」を行っております。しかし会長、幹事、理事ではなく我々会員一人ひとりが真剣になってやっていかなければならないのです。しかし、良いことに既に350名近くの会員の入会者が毎年あるということは、減少しているわけではないということです。先程私が少しシカゴのポール・ハリスの話をしました。大変厳しい大恐慌の前だと思えます。シカゴの街は荒れ狂っていた、そんな中にロータリークラブがあったわけです。100年に一度の大不況とあって我々が恐れをなすと言っていますが、本当に踊らされることなしに皆さんの力でお互いの気持ちの中を一つにする。そしてロータリークラブは存続する。それには良き仲間を作る。楽しい例会を作る。

入っていただいたが、退会された会員の方に対し、「どうしても退会される」「なぜ退会されるのだろう」と、アンケートを取りました。皆さんが驚かれるようなアンケート結果がこちらです。

まず、入会1年~3年までの会員の方からは「会員と相互の付き合いに馴染めない」「例会に出席しても面白くない」「最初の印象と入会後とでは魅力を感じない」という様な事が結果としてありました。私どもはクラブ奉仕委員会と手を組んで新入会員の皆様とともに少しでも彼らに馴染んでいただけるよう明るく、楽しくなるよう努力をしなければいけないということです。アンケート結果にクラブ運営に魅力がないと多く出ます。故にどうしたらよいか、例えば名古屋東山ロータリークラブですと、今年度の会長方針として例会プログラムを組み、夜間例会を年6回、お互いの親睦を深めるために同好会を作り、例えば「自然を楽しもう」「麻雀同好会」「囲碁」「夜例会」等のコミュニケーションなども出来ているわけです。

また、昭和ロータリークラブは「会の進め方に新

鮮味が欠ける」「惰性になっている」などの意見に対して、会長の挨拶、幹事の報告にユーモアを交え、ニコボックスへの紹介の仕方など和気藹々とした雰囲気作りに努めております。慣例・慣習・伝統にウエイトを置き、クラブ運営において良さを尊重しつつも、出来るだけ風通しの良い委員会メンバー構成に気を配っていきたい。

会員増強の一つとして普段から多くの知人に声をかけ、体験例会をしていただく「1回声をかけてみる」「1回体験入会を勧めてみる」などの他に女性会員に積極的に声をかけてみる。女性会員は男性会員に比べ、一度入会されますと在籍期間が長いです。そういう意味でも女性会員の多くがクラブの中でも増えております。私どもからクラブへ話しをしていますが、一人ひとりに、真剣に、如何に、周りの人に声をかけていくのが大切かと思えます。

東海ロータリークラブでは、会員増強委員会が例会プログラムとして自由な発想、広報リスト作成、クラブが一丸となって活動しその会員を勧誘し、2、3度お招きし、会員になってもらい友人とともに協力してもらおう、とのことでした。

会員の退会防止に極力会費の値上げは避ける、親睦活動に力を入れる、有益であるプログラムを心がける、友愛に努める、などがります。

明るく楽しいということで最後にアンケートを集計し、当クラブは設立以来、初代松岡会長のもとで知らないうちに運営し、委員長会談の中で他クラブからの発言が多くみられました。新しく会員になられた人には自然体の中、会員の確保を行うとともに、入ってきた人に温かく友愛をもって是非とも仲良くするというので、この1年間我々は増強を図ってきました。40名以下のクラブの方々には手を差し延べて、少しでも70~80名に近づくようにしてきました。しかし企業の無い地域のクラブはどうしたら増強できるかという悩み、そういうところでガバナーが20名クラブの中にて合併できるなら、すべきであろうと思うのが、15クラブ~20クラブくらいだったと存じております。

岩倉、大府あたりのクラブは一人で3つも4つも兼務し、2、3年で会長の持ち回りをしていますが、悲愴な感じもなく楽しそうにやっています。このような矛盾を抱え大澤ガバナーからどうやっていくのかをクラブの運営に80名から100名が理想的とデータが出ています。今後、会長、幹事を助けながら皆さんとともに声かけていただきながら体験例会に出席できたら良いかと思えます。

会員増強をテーマとした4月のセミナーの小冊子を作っております。インターネットの資料として皆さんご覧ください。

最後に地区の皆さん、ありがとうございました。

#### 第 876 回例会 (9月8日) のご案内

カバナー補佐訪問日

西名古屋分区ガバナー補佐 草野 勝彦さん